

Taiwan Note

嘉義

雞肉飯
檜意森活村

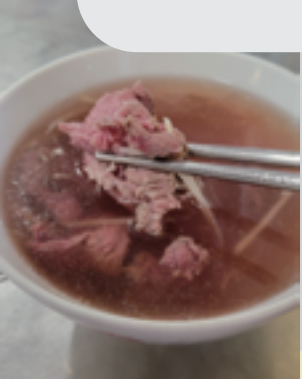
雞肉飯は台北にもあるけど、嘉義の雞肉飯はひと味違うらしい



台南

牛肉湯
奇美博物館

絵画も楽器も武器も動物も…何でもござれの博物館



墾丁

鴨肉飯
灯台

せっかく南に行くので最南端へ



高雄

丹丹漢堡
佛光山

台湾の南限定のハンバーガー屋と仏教のテーマパークへ



8

2023

南へ行こう

私の學伴(語学パートナー)が「高雄に来るなら案内するよ!」
と言ってくれたので、高雄ほか、台湾の南を巡る
4泊5日の旅行を計画した。

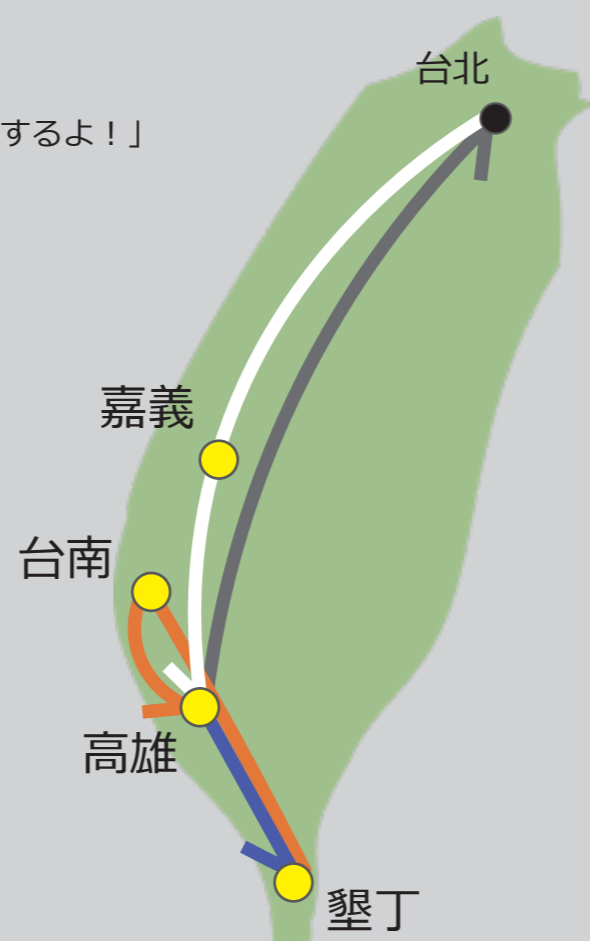
バスか、列車か、新幹線か

台北ー高雄間はおもに台鐵(台湾鉄道)で
移動した。台鐵は、高鐵(新幹線)よりは遅い
が安く、バスよりは高いが速い。

今回は間を取った。

墾丁までは台鐵が通っていないため、高雄から
出ている客運(長距離バス)を利用した。

図のとおり、やたら高雄に行っているが、
交通事情と我々の予定を考慮したらこうなった
ので仕方がない。



南と北の違い

方言や文化を国内で比較するとき、日本は東西だが、台湾は南北で語られる。

台北の交通は便利

旅行を通して、台北の交通の便利さをあらため
て認識した。台北なら捷運(地下鉄)、公車(バ
ス)、YouBike(シェアサイクリング)、私はあ
まり使わないが台鐵や高鐵…と手段豊富で、本
数も多いが、他ではこうはいかない。

學伴の子から「台湾でどの地域が一番好き?」
と聞かれたとき真っ先にうかんだのは「台北が
一番便利な都市で、次いで高雄(高雄捷運が便
利!)、台南(台鐵が通っている)。一番困った
のが墾丁」という回答だった。

hはどこへ?

台南の牛肉湯のお店で、私たちがもう食べ終わ
るという頃にちょうど席を探しているお客さん
がいた。席を空けようとしたら「せせ」と返さ
れた。台湾訛りの「謝謝 しえしえ xie4 xie」で
ある。

台湾人の北京話hが消えがち(衝撃だったの
が四十四。大陸だと「すうしいすう」、台湾だ
と「すうすうすう」)なのだが、南はより訛り
が強いという先生の話は本当だったようだ。台
北の人、謝謝は「しえしえ」って言うてるもん
な…。

現地の人々

ゲリラリスニング

佛光山行きのバスを待って並んでいた時、私を
挟んで台湾人2人が会話をはじめた(ちなみに
2人は知り合いではない)。せっかくなので、
リスニングがたら会話を聞いていたのだが、
台湾語だったため全く分からない!
ところが、しばらく聞いていると急に聞き取れ
るようになった。私の台湾語リスニング能力が
上がった訳ではない。2人は私が聞いているこ
とに気付いて、北京話に切り替えてくれたのだ。
色々バレてて恥ずかしいが、お気遣いありがと
うございます。北京話とはいえネイティブの会
話は速いのと、私の語彙が足りないのとで、内
容はうっすらとしか分からなかったが、時折「聽
得懂嗎?(分かった?)」と聞いてくれた。アメ
リカと大陸の時事の話だった。そら難しい。

相席した台湾人のオススメ

台南でかき氷を食べていたとき、相席した台湾
人が「高雄行くならここ行きな!」とオススメ
の美食を教えてくれた。実は高雄は佛光山以外、
ご飯すらノープランだったので、危うくコンビ
ニ飯になるところだった。
無事に次の日の昼食に。



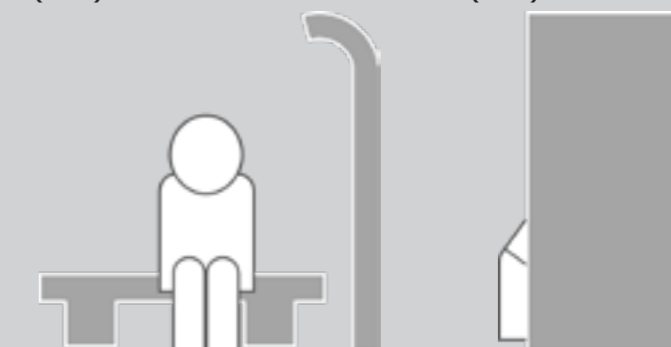
バスの運転手さんに怒られる

- まず、台湾のバスは日本と少し違う。
- バス停に時刻表がない(あと何分で来る〜と
いう情報を電光掲示板で確認できる)
 - バスが見えたら手をあげて運転手にアピー
ルして停まってもらう

私は待っていた場所が悪く、アピールが見えに
くかったそうで「あんな見えにくいところにい
られたら分かんないよ!」と言われた。真抱歉。
そもそも遅延で急いでいたようだ。

日本のお客様対応とは違い、台湾のバスの運行
は乗客と運転手の協力で成り立っている。
そのあと、降車ボタンを押すもバス停1つ分ス
ルーされるという出来事もあったが、お互い人
間だからね。そんなこともあるでしょう!

でも、バス停のデザインは改善の余地ありだ。
(左)正面 (右)運転手目線



ベンチに座って待っていたら、電光掲示板をか
ねた停留所サインのおかげで人が見えないのが
現状。バスの進行方向を考慮し、人を挟んで反
対側か、もしくは人の後方に掲示板を設置すれ
ば、お互いに視界良好である。

トラブルいっぱい

いい風に言うと、臨機応変な旅行だった。

今月の報告書は文章ばかりで読みにくいが、これでもかなり厳選した。

トラブルも旅行のひとつの醍醐味なので、はりきって書こうと思う。

到着、そして道に迷う

旅行初日、朝早く寮を出た甲斐あって、お昼には嘉義に到着した。

昼は涼麺を食べよう！と Google マップに従い歩くも、まったく着く気配がない。???

確認したところ、Google マップは高速道路を歩けと仰せのようだった。

あの、徒歩、なんですけど…。

どうしてもたどり着けないので予定を変更し、別のお店で鶏肉飯を食べた。嘉義の鶏肉飯は火鶏肉や上にのった卵が特徴で、とてもおいしい。帰国前にもう一度食べたい美食だ。

南方蟑螂太多了

高雄で飲料店に向かい歩いているとき、蟑螂路と呼ぶべき通りに遭遇した。蟑螂(生きた化石、生命力が凄まじい黒い虫。浜松駅南口付近によく出るらしい)が、何故か大量にひっくり返って死んでいた。こわ…。誇張ではなく、本当に大量だった。一生分見た。半径 1 m 以内に 3 匹(前と左右にそれぞれ 1 匹)いて道を阻まれたときは、今年一番の勇気をふりしぼって進んだ。一步進むごとに新たなゴ k…蟑螂がひっくり返っている蟑螂路を乗り越えた私は、1 匹や 2 匹なんて可愛いものだ！そう思えるようになった。

予約が必要？してないが…

墾丁までは台鐵が通っていないため、高雄の高鉄左營站から客運(長距離バス)に乗って向かった。ここからが予想外の連続だった。まずバス停につくと予約してる？と聞かれた。調べたとき、予約が必要なんて情報は出てこなかったけど…。

予約していないがバスに乗れるか聞いたら、駅ビル(?)の 2 階に行って番号もらってきとて言われた。よく情報を確認すると、予約はやはり必要なくて(特別な配慮が必要な場合のみ必要)、当日券をもらってこいとのことだった。なるほど。出発はもうすぐだし、そんな時間はない！(出発の 3 分前くらいだった)とりあえず、券をもっている人が乗りおわったところに、席があいていたら乗れるということで話がついた。結果、無事に予定通りのバスに乗れたのでよかった！でも、無駄に不安な気持ちになったので、やはり早め早めの行動は大事。

車がない！

客運(長距離バス)に乗って墾丁に到着したものの、降ろされた場所はなんと道路(右写真)。スマホを構えて写真を撮る私の後ろには大きな高級ホテルが一軒建っていた。同じ場所で降りた乗客たちは事前に手配していたのであろう自動車に乗り込み去っていく。我々はこのあとローカルバスに乗る予定だったのだが、客運が予定よりも遅れたため、次のバスは…田舎のバスなので本数はお察し。道路に降ろされ、車もない、バスもない、さあ困ったと立ち往生していると、すぐに地元の方が道路向こうから声をかけてくれた。バスに乗り遅れたことを話すと、「私の車で墾丁まわれば？乗せていくよ！」と言ってくれた。ありがたい…！その方は個人タクシーをしている方らしく、おかげで墾丁の名所を無事に、バスでは諦めていたであろう所まで回れた。

